

Ⅱ 調査結果の概要

[学校調査・学校通信教育調査]

1 幼稚園

(1) 幼稚園数

- ・ 幼稚園数は 515 園（本園 510 園、分園 5 園）で、前年度に比べ 2 園増加した。
- ・ 設置者別にみると、国立 1 園、公立 271 園、私立 243 園となっている。

(2) 学級数

- ・ 学級数は 2,804 学級で、前年度に比べ 6 学級減少した。
- ・ 1 学級当たりの園児数は 22.1 人で、前年度に比べ 0.1 人減少した。

(3) 園児数

- ・ 園児数は 62,107 人（男 31,521 人、女 30,586 人）で、前年度に比べ 310 人減少した。
- ・ 年齢別にみると、3 歳児が 20,475 人、4 歳児が 21,076 人、5 歳児が 20,556 人となっている。
- ・ 設置者別にみると、国立 133 人、公立 21,581 人、私立 40,393 人となっている。
- ・ 定員充足率は、公立幼稚園で 57.6%（前年度に比べ 0.4 ポイント上昇）、私立幼稚園で 72.6%（同 0.3 ポイント低下）となっている。

図1 園数、園児数、教員数の推移

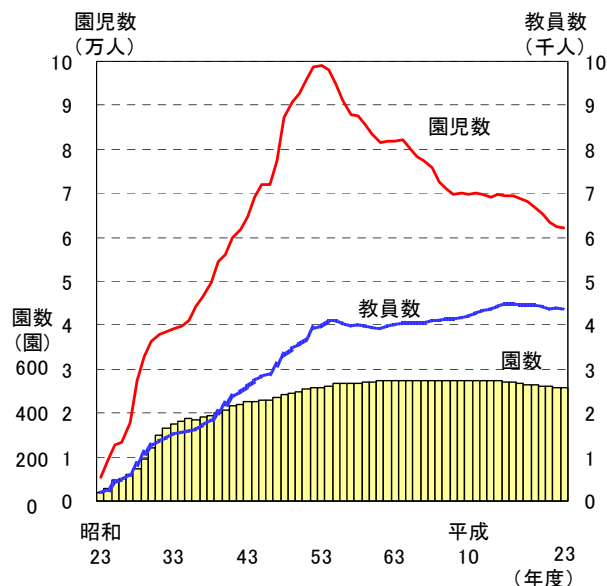
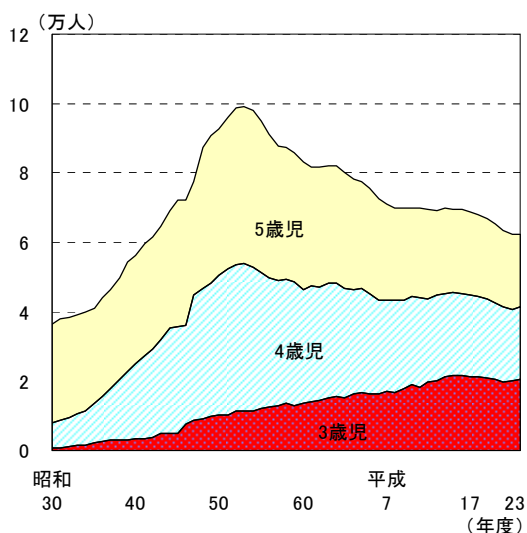


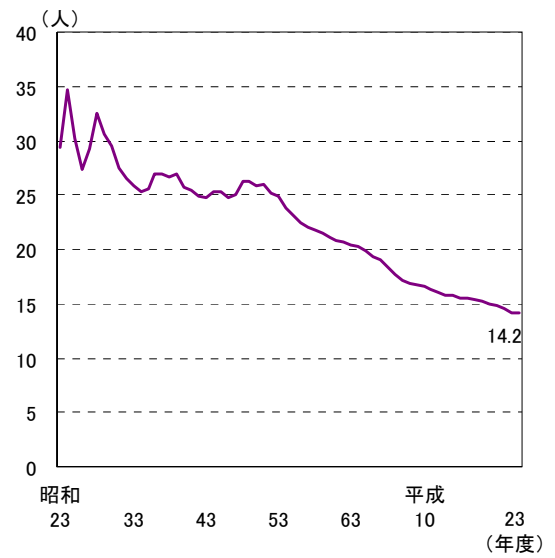
図2 園児数の推移(年齢別)



(4) 教員数

- ・ 教員数（本務者）は4,377人（男240人、女4,137人）で、前年度に比べ21人減少した。
- ・ 女性教員の占める割合は94.5%で、前年度より0.4ポイント低下した。
- ・ 本務教員1人当たりの園児数は14.2人（全国14.5人）で、前年度と同じであった。設置者別にみると、公立12.8人、私立15.0人となっている。

図3 本務教員1人当たりの園児数の推移



2 小学校

(1) 学校数

- ・ 学校数は525校（本校520校、分校5校）で、前年度に比べ4校減少した。設置者別にみると、国立2校、公立519校、私立4校となっている。
- ・ 特別支援学級（旧75条学級）を置く学校数は279校で、前年度と同数であった。

(2) 学級数

- ・ 学級数は7,573学級で、前年度に比べ122学級増加した。
- ・ 特別支援学級数は537学級で、前年度に比べ26学級増加し、全学級数に占める割合は7.1%となっている。複式学級は88学級で、前年度に比べ7学級増加した。
- ・ 1学級当たりの児童数は27.6人（全国25.0人）で、前年度より0.8人減少した。

(3) 児童数

- ・ 児童数は208,926人（男107,468人、女101,458人）で、前年度に比べ2,824人減少した。
- ・ 設置者別にみると、国立1,154人、公立206,431人、私立1,341人となっている。
- ・ 第1学年の児童数に対する幼稚園修了者の比率は64.7%（全国55.3%）で、前年度に比べ0.2ポイント低下した。

図4 学校数、児童数、教員数の推移

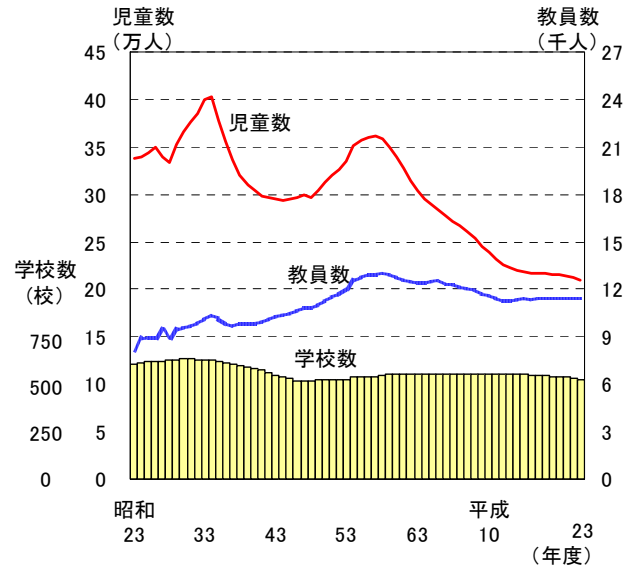
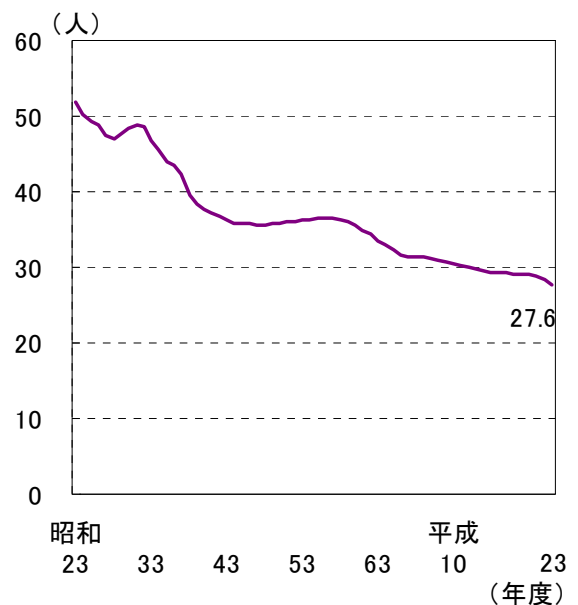


図5 1学級当たりの児童数の推移



- 平成 22 年度間の帰国児童数は 227 人で、前年度に比べ 105 人減少した。

- 外国人児童数は 2,533 人で、前年度に比べ 134 人減少した。全児童に占める割合は 1.2% となっている。

(4) 教員数

- 教員数（本務者）は 11,450 人（男 4,633 人、女 6,817 人）で、前年度に比べ 3 人減少した。

- 女性教員の占める割合は 59.5%（全国 62.9%）で、前年度に比べ 0.1 ポイント上昇した。

(5) 長期欠席者数

- 平成 22 年度間の長期欠席者数は 1,311 人で、前年度と同数であった。

- 理由別にみると、最も多いのが「不登校」の 65.3%、次いで「病気」が 22.5% となっており、前年度に比べ「不登校」の割合は 0.4 ポイント上昇し、「病気」の割合は 3.1 ポイント低下した。

- 児童 1,000 人当たりの長期欠席者数は 6.2 人（全国 7.3 人）で、前年度に比べ 0.1 人増加した。そのうち「不登校」によるものは 4.0 人となっている。

図6 帰国児童、外国人児童数の推移

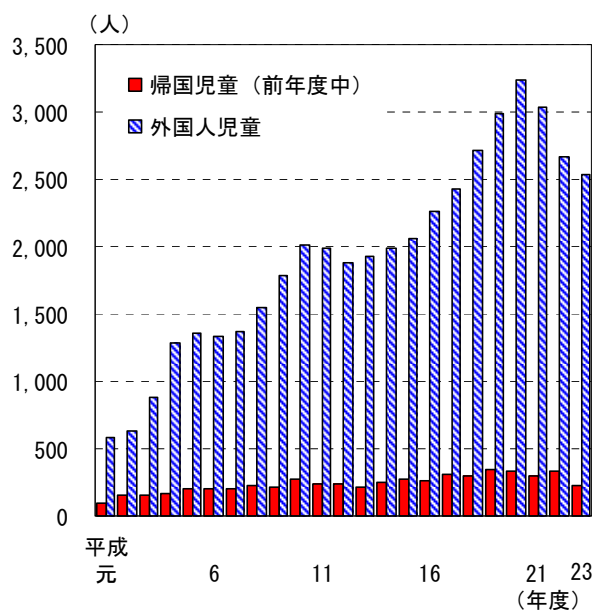
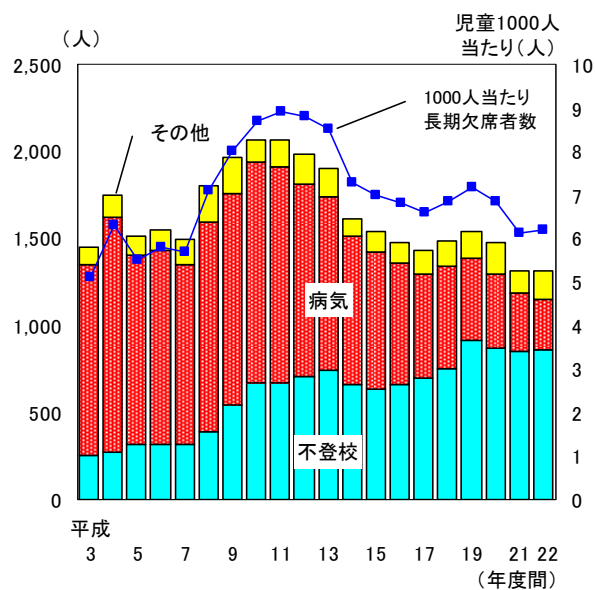


図7 長期欠席者数の推移



3 中学校

(1) 学校数

- 学校数は 295 校（本校 294 校、分校 1 校）で、前年度に比べ 1 校増加した。設置者別にみると、国立 3 校、公立 265 校、私立 27 校となっている。
- 特別支援学級を置く学校は 155 校で、前年度に比べ 5 校増加した。

(2) 学級数

- 学級数は 3,680 学級で、前年度に比べ 37 学級増加した。
- 特別支援学級数は 274 学級で、前年度に比べ 7 学級増加した。全学級数に占める割合は 7.4%となっている。
- 1 学級当たりの生徒数は 29.2 人（全国 29.4 人）で、前年度に比べ 0.1 人減少した。

(3) 生徒数

- 生徒数は 107,562 人（男 55,117 人、女 52,445 人）で、前年度に比べ 940 人増加した。
- 設置者別にみると、国立 1,188 人、公立 101,583 人、私立 4,791 人となっている。

図8 学校数、生徒数、教員数の推移

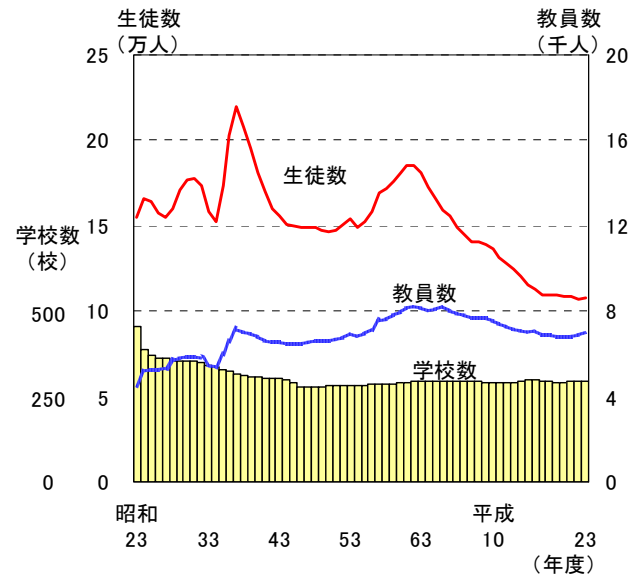
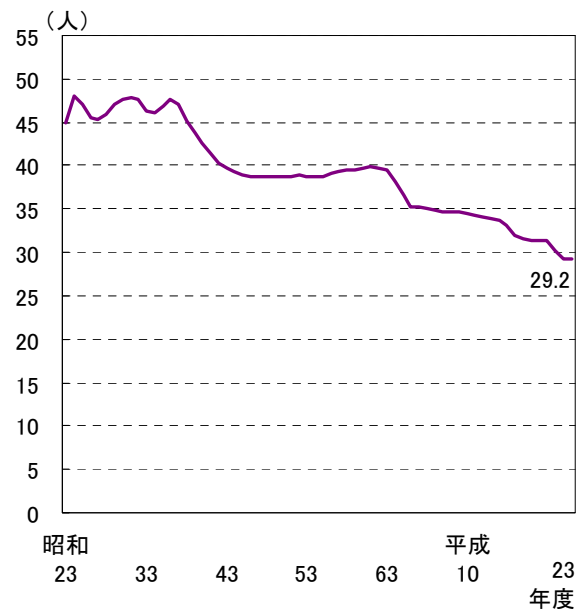


図9 1 学級当たりの生徒数の推移



- 平成 22 年度間の帰国生徒は 119 人で、前年度に比べ 91 人減少した。

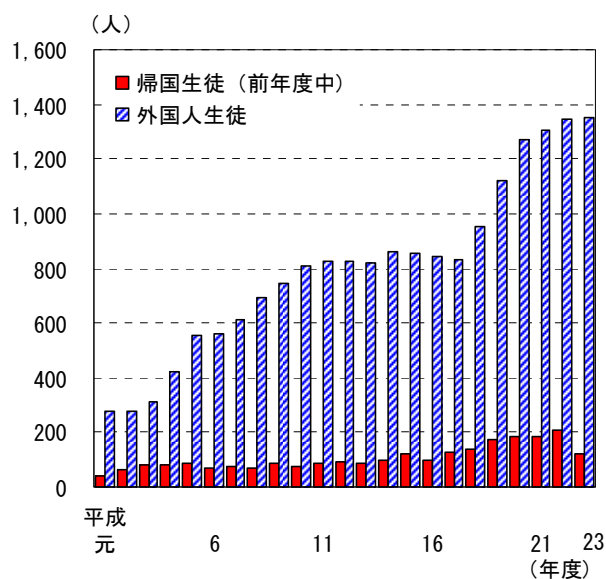
- 外国人生徒数は 1,349 人で、前年度に比べ 3 人増加し、全生徒数に占める割合は 1.3% となっている。

(4) 教員数

- 教員数（本務者）は 6,971 人（男 4,408 人、女 2,563 人）で、前年度に比べ 86 人増加した。

- 女性教員の占める割合は 36.8%（全国 42.0%）で、前年度に比べ 0.1 ポイント上昇した。

図10 帰国生徒、外国人生徒数の推移



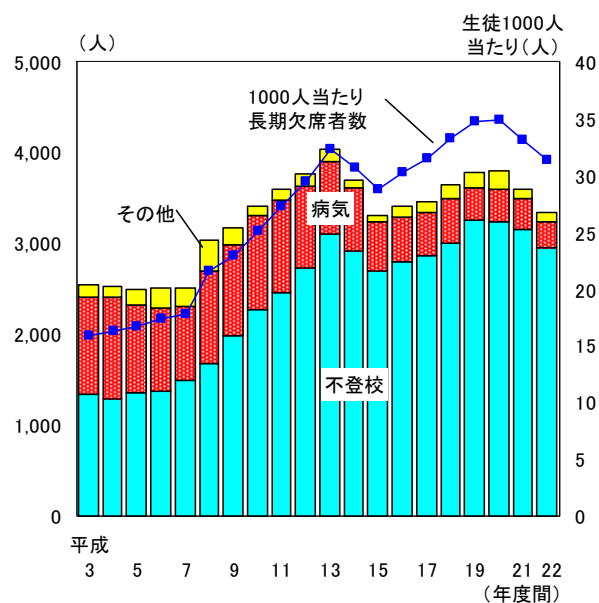
(5) 長期欠席者数

- 平成 22 年度間の長期欠席者数は 3,341 人で、前年度に比べ 244 人減少した。

- 理由別にみると、最も多いのが「不登校」の 88.1%、次いで「病気」が 8.9% となっており、前年度に比べ「不登校」の割合は 0.2 ポイント上昇し、「病気」の割合は 0.8 ポイント低下した。

- 生徒 1,000 人当たりの長期欠席者数は 31.3 人（全国 33.7 人）で、前年度に比べ 1.7 人減少した。そのうち「不登校」によるものは 27.6 人となっている。

図11 長期欠席者数の推移



4 高等学校

(全日制・定時制)

(1) 学校数

- ・ 学校数は144校（本校142校、分校2校）で、前年度と同数であった。
- ・ 設置者別にみると、公立101校（本校99校、分校2校）、私立43校（本校のみ）で、前年度と同数であった。
- ・ 課程別にみると、全日制課程のみを置く学校が123校、定時制課程のみを置く学校が2校、全日制・定時制の両課程を併置している学校が19校となっている。

(2) 小学科数

- ・ 小学科数（本科）は、全日制271学科、定時制21学科、計292学科となっている。
- ・ 学科別にみると、普通科が125学科で最も多く、次いで工業科54学科、商業科36学科、農業科20学科の順となっている。

* 小学科数は生徒が在籍している学科の数である。

(3) 生徒数

- ・ 生徒数は101,628人（男51,746人、女49,882人）で、前年度に比べ389人減少した。
- ・ 設置者別にみると、公立69,946人、私立31,682人となっている。

図12 学校数、生徒数、教員数の推移

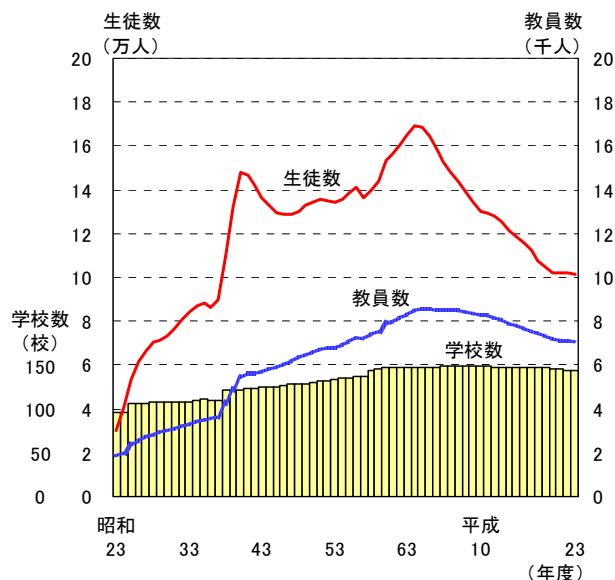


表1 学科別小学科数・生徒数(本科)

区分	小学科数	生徒数
普通科	125	69,902
農業科	20	2,462
工業科	54	7,525
商業科	36	9,721
水産科	4	480
家庭科	4	451
福祉科	6	686
総合学科	8	4,639
その他	35	5,733
計	292	101,599

- 全生徒数のうち本科の生徒数は 101,599 人で前年度に比べ 391 人減少した。

また、専攻科の生徒数は 29 人で、前年度より 2 人増加した。

- 本科の生徒数のうち、全日制課程の生徒数は 98,010 人で、前年度に比べ 356 人減少し、全日制課程の生徒数の占める割合は 96.5% となっている。

- 本科の生徒数のうち、定時制課程の生徒数は 3,589 人で、前年度に比べ 35 人減少した。

- 本科の生徒数を学科別にみると、普通科が 69,902 人（全体の 68.8%）で最も多く、次いで商業科 9,721 人（同 9.6%）、工業科 7,525 人（同 7.4%）、総合学科 4,639 人（同 4.6%）の順となっている。

- 平成 22 年度間の帰国生徒数（本科）は 45 人（公立 24 人、私立 21 人）で、前年度に比べ 21 人減少した。

- 外国人生徒数は、793 人（公立 590 人、私立 203 人）で、前年度に比べ 106 人増加した。

(4) 入学者数

- 本科の入学者数は 33,546 人（全日制課程 32,486 人、定時制課程 1,060 人）で、前年度に比べ 1,905 人減少した。

- 入学志願者に対する入学者の割合は、公立 91.6%、私立 34.5% となっている。

- 入学定員に対する入学者の割合は、公立 98.6%、私立 85.9% となっている。

図13 学科別生徒数(本科)

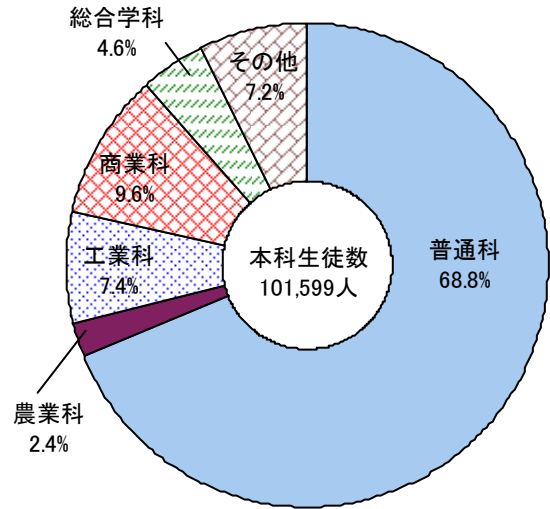
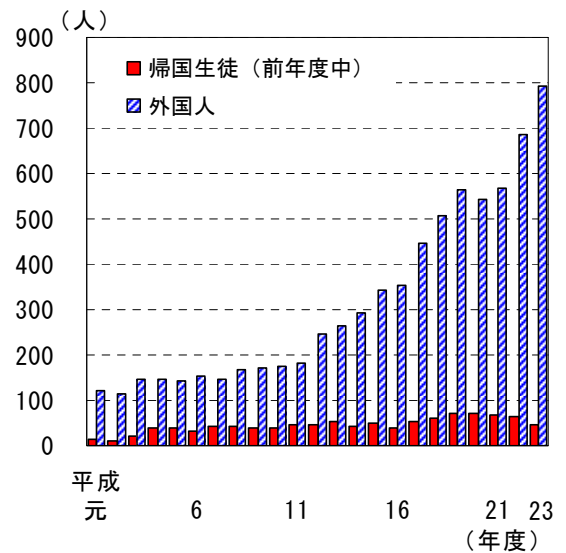


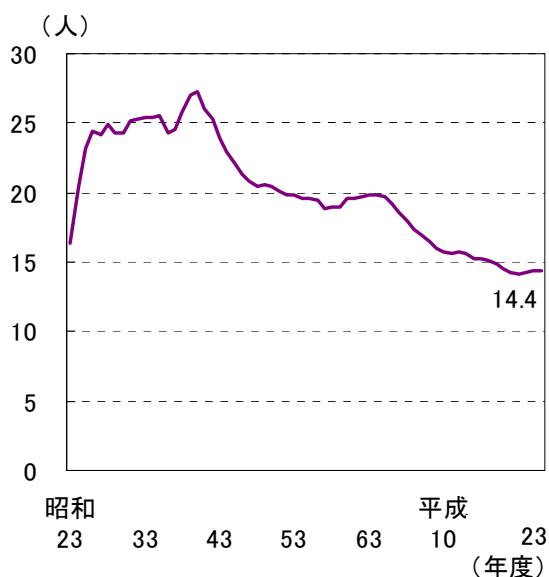
図14 帰国生徒、外国人生徒数の推移



(5) 教員数

- ・ 教員数（本務者）は 7,058 人（男 5,151 人、女 1,907 人）で、前年度に比べ 64 人減少した。
- ・ 女性教員の占める割合は 27.0%（全国 29.8%）で、前年度に比べ 0.3 ポイント上昇した。
- ・ 本務教員 1 人当たりの生徒数は 14.4 人（全国 14.2 人）で、前年度に比べ 0.1 人増加した。

図15 本務教員 1 人当たりの生徒数の推移



(通信制)

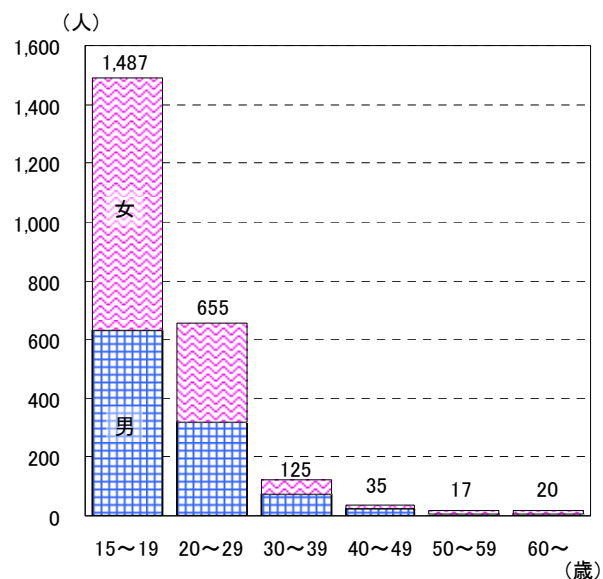
(1) 学校数

- ・ 学校数は 2 校（うち定時制と併置 1 校）で、前年度と同数となっている。

(2) 生徒数

- ・ 生徒数は 2,339 人（男 1,059 人、女 1,280 人）で、前年度に比べ 40 人増加した。
- ・ 年齢別にみると、10 歳代が全体の 63.6%で最も多く、20 歳代が 28.0%、30 歳代以上が 8.4%となっている。

図16 年齢別生徒数



(3) 教員数

- ・ 教員数（本務者）は 51 人で、前年度に比べ 3 人減少した。

5 特別支援学校

(1) 学校数

- ・ 学校数は 35 校で、前年度に比べ 3 校増加した。

(2) 学級数

- ・ 学級数は 1,065 学級で、前年度に比べ 37 学級増加した。

(3) 在学者数

- ・ 在学者数は 4,414 人で、前年度に比べ 224 人増加した。

【内訳】

・ 幼稚部	34 人
・ 小学部	1,577 人
・ 中学部	1,013 人
・ 高等部	1,790 人

(4) 教員数

- ・ 教員数（本務者）は 2,305 人で、前年度に比べ 116 人増加した。

図17 学校数、生徒数、教員数の推移

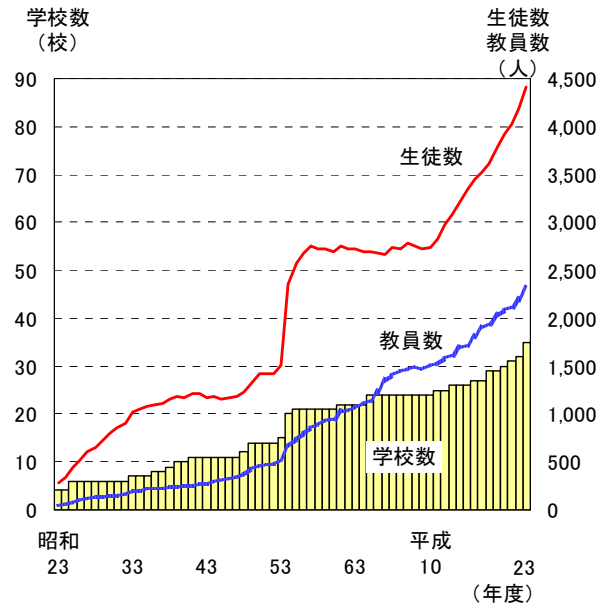
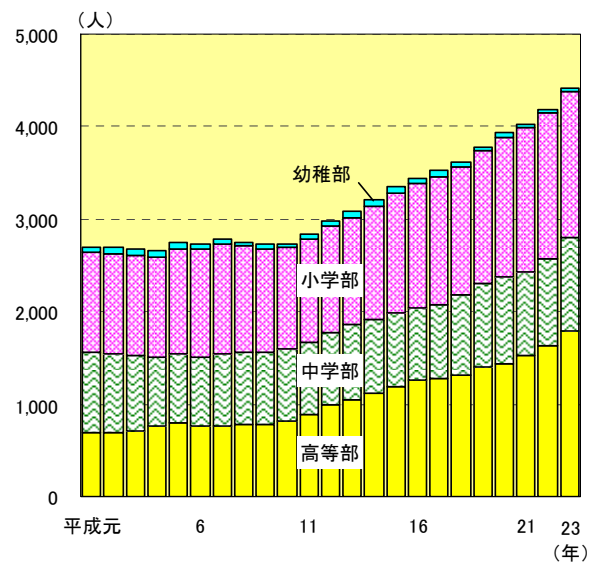


図18 児童・生徒数の推移



6 専修学校

(1) 学校数

- ・ 学校数は 95 校で、前年度に比べ 2 校減少した。
- ・ 設置者別にみると、公立 10 校、私立 85 校となっている。

(2) 学科数

- ・ 学科数は、高等課程 19 学科、専門課程 204 学科、一般課程 14 学科、計 237 学科となっている。
- ・ 分野別にみると、医療関係が 47 学科で最も多く、次いで、商業実務関係 43 学科、工業関係 41 学科、文化・教養関係 38 学科、衛生関係 28 学科、服飾・家政関係 23 学科の順となっている。
- ・ 修業年限別にみると、1 年～1 年 11 か月が 30 学科、2 年～2 年 11 か月が 118 学科、3 年以上が 89 学科となっている。
- ・ 昼夜別にみると、昼の課程が 224 学科、夜及び昼夜の課程が 13 学科となっている。

(3) 生徒数

- ・ 生徒数は 13,368 人（高等課程 1,411 人、専門課程 11,699 人、一般課程 258 人）で、前年度に比べ 476 人増加した。
- ・ 全生徒数のうち、女子は 7,445 人で全体の 55.7% を占めている。

図19 学校数、生徒数、教員数の推移

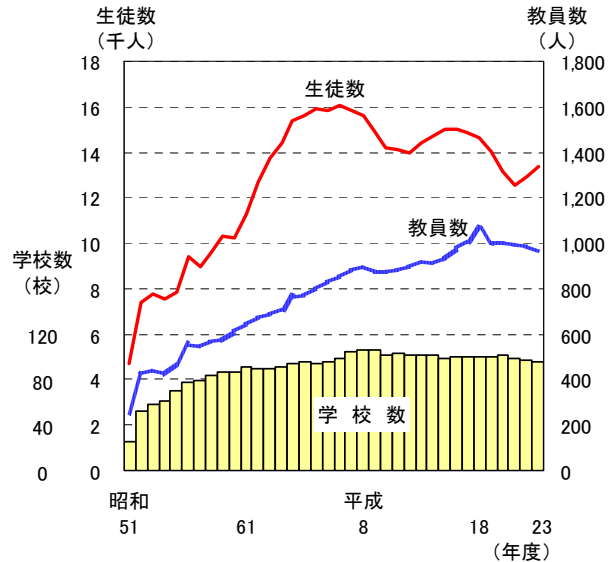
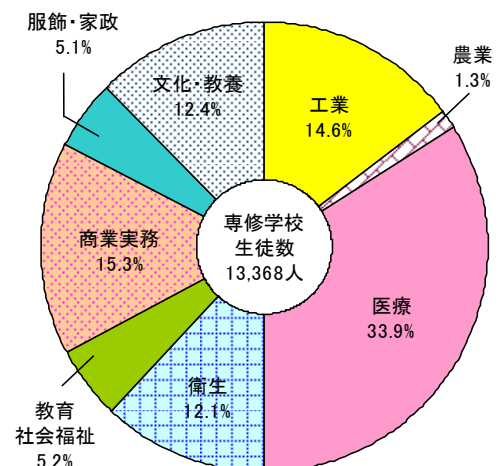


表2 分野別学科数・生徒数

区分	学科数	生徒数
工業	41	1,957
農業	6	179
医療	47	4,530
衛生	28	1,623
教育・社会福祉	11	700
商業実務	43	2,042
服飾・家政	23	680
文化・教養	38	1,657
計	237	13,368

図20 学科別生徒数割合



- ・ 学科別にみると、医療関係が最も多く 4,530 人で、次いで商業実務関係 2,042 人、工業関係 1,957 人、文化・教養関係 1,657 人の順となっている。

(4) 入学者数

- ・ 本年 4 月 1 日から 5 月 1 日までの入学者数は 5,858 人（高等課程 508 人、専門課程 5,141 人、一般課程 209 人）で、前年度に比べ 178 人減少した。

- ・ 春期の入学定員に対する入学者の割合は、67.7%となっている。

(5) 卒業生数

- ・ 前年 4 月 1 日から本年 3 月 31 日までの卒業生数は 4,695 人（高等課程 356 人、専門課程 4,113 人、一般課程 226 人）で、前年度間に比べ 344 人減少した。

(6) 教員数

- ・ 教員数は、本務者 966 人（男 480 人、女 486 人）、兼務者 2,812 人（男 1,730 人、女 1,082 人）で、前年度に比べ本務者は 17 人減少し、兼務者は 104 人増加した。

図21 学科別生徒数の推移

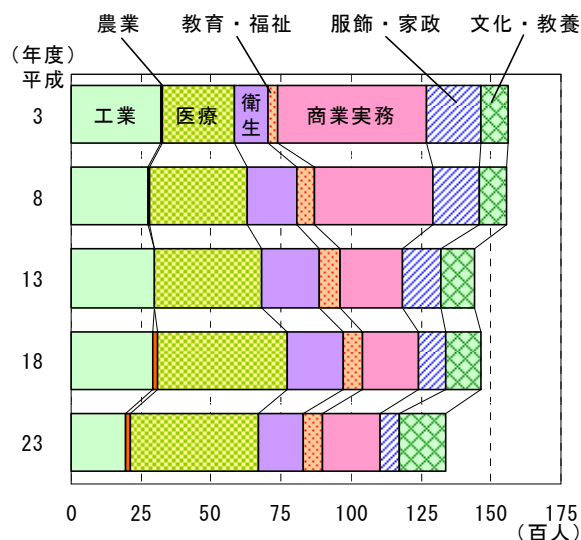
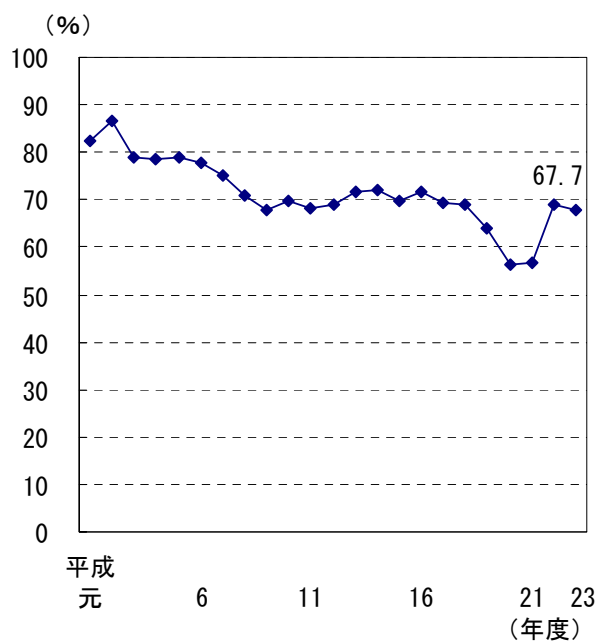


図22 春期入学者の定員充足率の推移



7 各種学校

(1) 学校数

- ・ 学校数は40校（私立のみ）で、前年度に比べ1校減少した。

(2) 課程数

- ・ 課程数は、医療関係1課程、商業実務関係20課程、家政関係7課程、文化・教養関係3課程、その他11課程、計42課程である。

(3) 生徒数

- ・ 生徒数は1,785人で、前年度に比べ5人増加した。最も多い学科は、商業実務関係の836人（全体の46.8%）である。

(4) 入学者数

- ・ 本年4月1日から5月1日までの入学者は308人（男127人、女181人）で、前年度に比べ66人減少した。

(5) 卒業者数

- ・ 前年4月1日から本年3月31日までの卒業者は498人（男219人、女279人）で、前年度間に比べ20人増加した。

(6) 教員数

- ・ 教員数は、本務者125人（男43人、女82人）、兼務者57人（男28人、女29人）で、前年度に比べ本務者7人減少し、兼務者は2人減少した。

図23 学校数、生徒数、教員数の推移

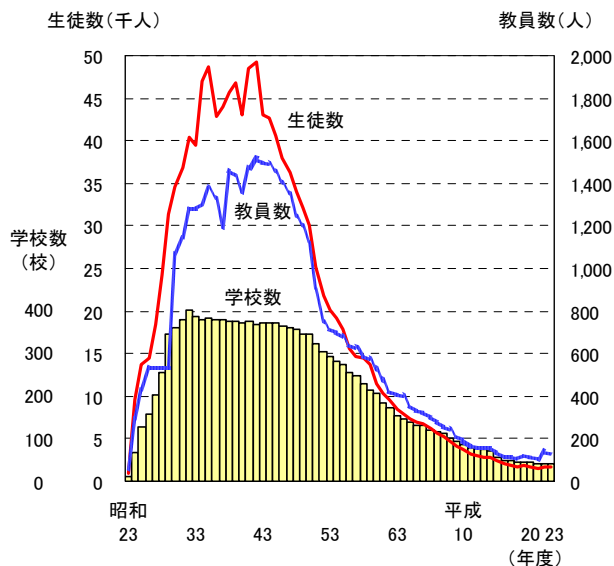
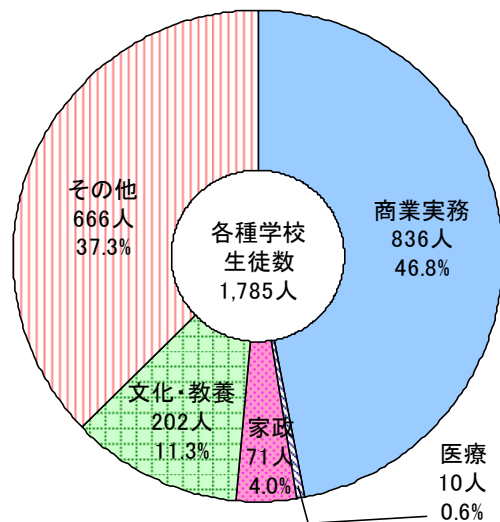


図24 学科別生徒数



[卒業後の状況調査]

1 中学校卒業後の状況

(1) 進路別卒業生数

- ・平成23年3月の中学校卒業生数は35,163人(男17,893人、女17,270人)で、前年に比べ2,036人減少した。
- ・高等学校等進学者は34,390人(男17,425人、女16,965人)で、前年に比べ1,946人減少した。
- ・専修学校及び各種学校への進学・入学者は100人(男61人、女39人)で、前年に比べ39人減少した。
- ・公共職業能力開発施設等入学者は33人(男25人、女8人)で、前年に比べ8人増加した。
- ・就職者数は、230人(男166人、女64人)で、前年に比べ47人減少した。なお、就職者数には、進学・入学しながら就職した者28人(男15人、女13人)を含んでいる。

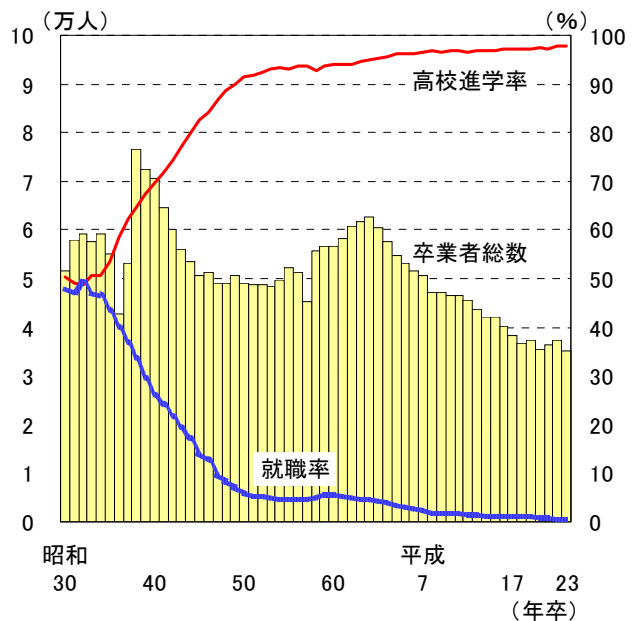
(2) 高等学校等進学率

- ・高等学校等進学率は97.8%(全国98.2%)で、前年に比べ0.1ポイント上昇した。男子の進学率は97.4%、女子は98.2%で、男子は前年に比べ0.1ポイント、女子も前年に比べ0.1ポイント上昇した。

(3) 就職率

- ・就職率は0.7%(全国0.4%)で、前年と同じであった。

図25 中学校卒業生数、高等学校等進学率及び就職率の推移



2 高等学校卒業後の状況

(全日制・定時制)

(1) 進路別卒業生数

- 平成 23 年 3 月の高等学校卒業生数（全日制課程・定時制課程）は 31,883 人（男 16,267 人、女 15,616 人）で、前年に比べ 1,466 人減少した。
- 大学等進学者は 17,233 人（男 8,882 人、女 8,351 人）で、前年に比べ 870 人減少した。
- 専修学校（専門課程）進学者は 5,244 人（男 2,100 人、女 3,144 人）で、前年に比べ 32 人減少した。
- 専修学校（一般課程）等入学者は 792 人（男 456 人、女 336 人）で、前年に比べ 279 人減少した。
- 公共職業能力開発施設等入学者は 141 人（男 129 人、女 12 人）で、前年に比べ 37 人減少した。
- 就職者数は、6,706 人（男 3,716 人、女 2,990 人）で、前年に比べ 51 人減少した。なお、就職者数には、進学・入学しながら就職した者 7 人（男 2 人、女 5 人）を含んでいる。
- 現役高校生の大学等進学率は 54.1%（全国 54.4%）で、前年に比べ 0.2 ポイント低下した。男子の進学率は 54.6%（全国 52.4%）、女子は 53.5%（全国 56.5%）で、前年に比べ男子は 0.1 ポイント、女子は 0.4 ポイント低下した。

図26 高等学校卒業生数、大学等進学率及び就職率の推移

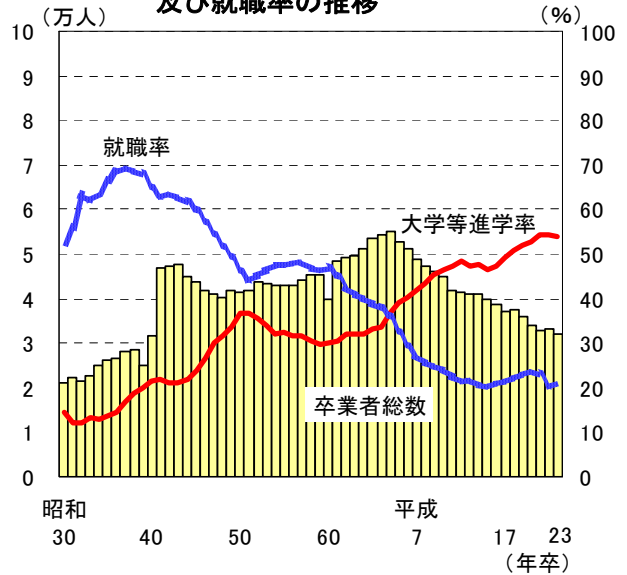


図27 高等学校卒業生の進路別内訳

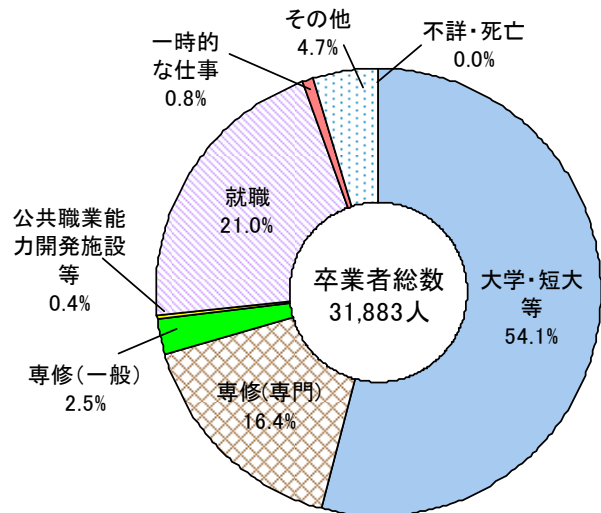
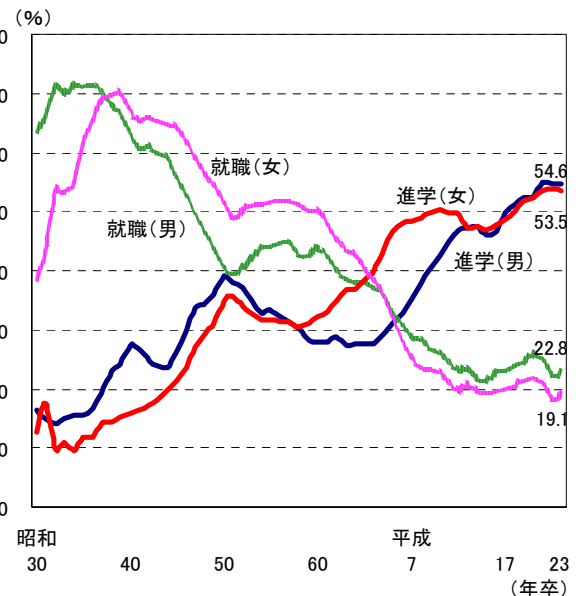


図28 男女別大学等進学率、就職率の推移



(2) 大学等進学者及び大学等進学率

- 大学等進学者のうち、大学学部及び短期大学本科への進学者数は 17,205 人で、前年に比べ 873 人減少した。
- 大学学部への進学者数は 15,496 人(男 8,746 人、女 6,750 人) で、前年に比べ 811 人減少し、全卒業者に占める割合は 48.6%となっている。
- 短期大学本科への進学者数は 1,709 人(男 118 人、女 1,591 人) で、前年に比べ 62 人減少した。全卒業者に占める割合は 5.4%となっている。
- 男子の大学学部への進学率は 53.8%で、前年に比べ 0.1 ポイント低下した。一方、短期大学本科への進学率は 0.7%で、前年と同じであった。
- 女子の大学学部への進学率は 43.2%で、前年に比べ 0.5 ポイント低下した。一方、短期大学本科への進学率は 10.2%で、前年に比べ 0.1 ポイント上昇した。

(3) 大学等への志願者数及び志願率

- 大学学部及び短期大学本科への志願者数(過年卒業者を除く)は 19,019 人(男 10,121 人、女 8,898 人) で、前年に比べ 1,044 人減少した。
- 大学学部への志願者数は 17,235 人(男 9,989 人、女 7,246 人) で、前年に比べ 982 人減少した。

図29 男女別大学、短大進学率の推移
(%)

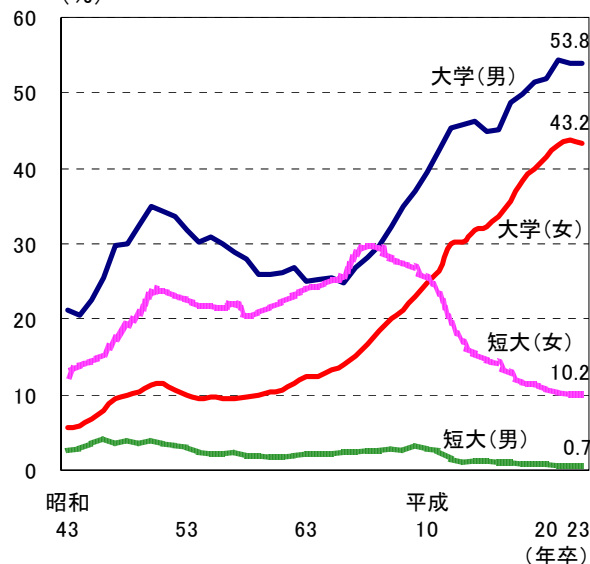
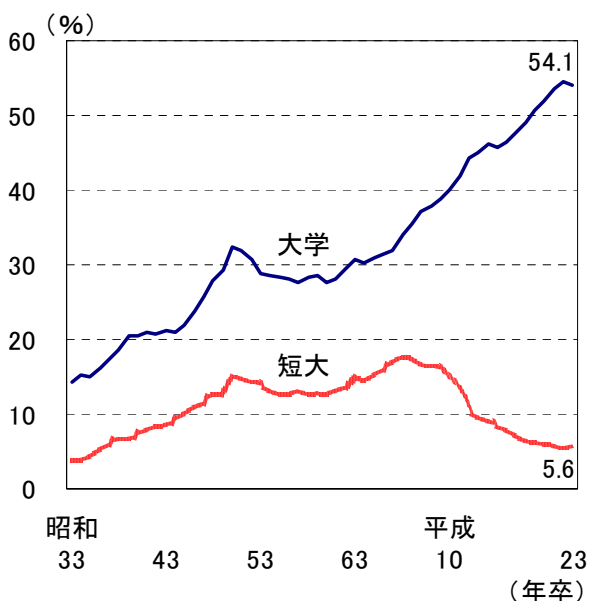


図30 大学学部、短大本科への志願率の推移
(%)



- 短期大学本科への志願者数は1,784人（男132人、女1,652人）で、前年に比べ62人減少した。

- 本年3月卒業者の大学学部及び短期大学本科への志願率は、それぞれ54.1%、5.6%で、前年に比べ、大学は0.5ポイント低下し、短期大学は0.1ポイント上昇した。

(4) 就職者及び就職率

- 就職率は21.0%（男22.8%、女19.1%、全国15.9%）で、前年に比べ0.7ポイント上昇した。

- 就職者数を産業別にみると、製造業が3,218人（全体の48.0%）で最も多く、次いで卸売業・小売業614人（同9.2%）、医療・福祉561人（同8.4%）、生活関連サービス業・娯楽業415人（同6.2%）、宿泊業・飲食サービス業414人（同6.2%）、運輸・郵便業316人（4.7%）の順となっている。

- 職業別にみると、生産工程従事者が3,334人（全体の49.7%）で最も多く、次いでサービス職業従事者1,346人（同20.1%）、事務従事者703人（同10.5%）、販売従事者504人（同7.5%）の順となっている。

- 就職者総数のうち、県外へ就職した者は453人（男321人、女132人）で就職者総数の6.8%（全国18.4%）を占め、前年に比べ1.0ポイント上昇した。

- 県外就職者の都道府県別就職先は、東京都が158人、次いで愛知県151人、神奈川県87人の順になっている。

図31 産業別就職者の内訳

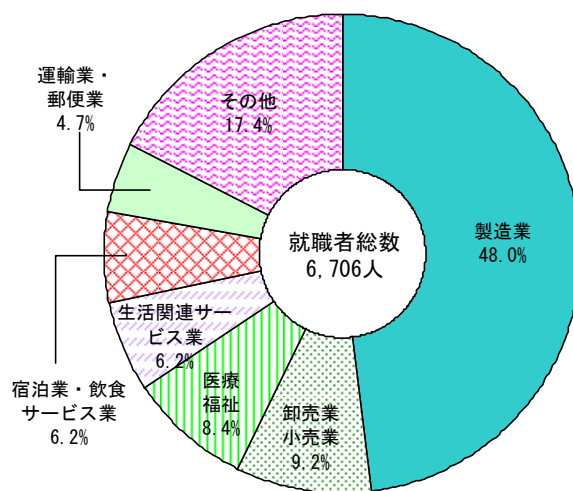
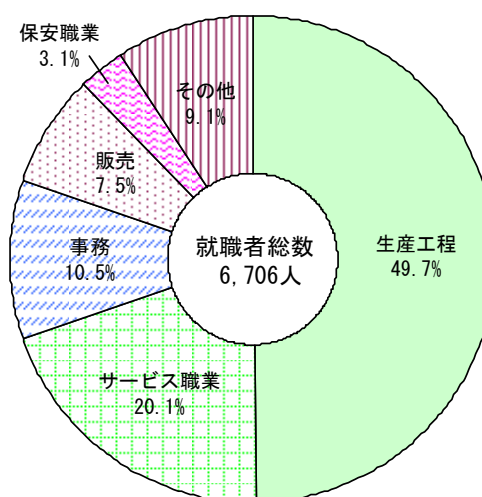


図32 職業別就職者の内訳



(通信制)

- ・平成22年度間の卒業生数は280人（男105人、女175人）で、前年度間に比べ30人減少した。
- ・進路別にみると、大学等進学者が41人（全体の14.6%）、専修学校（専門課程）進学者46人（同16.4%）、専修学校（一般課程）進学者4人（同1.4%）、公共職業能力開発施設等進学者0人、就職者59人（同21.1%）、その他131人（同46.8%）となっている。なお、就職者数には、進学・入学しながら就職した者1人を含んでいる。

3 特別支援学校卒業後の状況

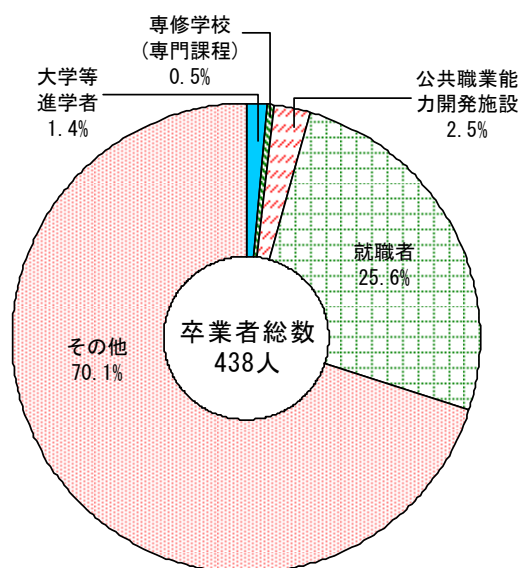
(1) 中学部の進路別卒業生数

- ・平成23年3月の中学部卒業生数は308人となっている。
- ・高等学校等進学者は290人で、高等学校等進学率は94.2%となっている。

(2) 高等部の進路別卒業生数

- ・平成23年3月の高等部卒業生数は、438人となっている。
- ・大学等進学者は6人で、大学等進学率は1.4%となっている。
- ・就職者数は112人で、就職率は25.6%となっている。

図33 高等部卒業生の進路別内訳



[不就学学齡児童生徒調査]

1 就学免除者

- ・ 就学免除者は、学齡児童（6～11歳）3人、学齡生徒（12～14歳）0人で、前年に比べ1人増加した。

2 就学猶予者

- ・ 就学猶予者は、学齡児童 19人、学齡生徒 7人の計 26人で、前年に比べ3人増加した。

3 1年以上居住不明者

- ・ 1年以上居所不明者は、学齡児童 5人、学齡生徒 1人の計 6人で、前年に比べ5人増加した。

4 学齡児童生徒死亡者

- ・ 平成 22 年度間に死亡した者は、学齡児童 5人、学齡生徒 8人の計 13人で、前年度間に比べ1人増加した。

[学校施設調査]

1 学校建物面積

- ・ 私立学校の建物面積は 1,250,119 m²（設置者所有 1,239,246 m²、借用 10,873 m²）で、前年度に比べ 11,900 m²増加した。
- ・ 私立学校の設置者所有建物を構造別にみると、木造 2.3%、鉄筋コンクリート造 61.8%、鉄骨造その他 36.0%となっている。
- ・ 公立の専修学校の建物面積は 47,691 m²（設置者所有 47,620 m²、借用 71 m²）で、前年度と比べ 3,857 m²減少した。
- ・ 公立の専修学校の設置者所有建物を構造別にみると、鉄筋コンクリート造が 71.9%、鉄骨造その他 28.1%となっている。

2 学校土地面積

- ・ 私立学校の土地面積は 3,164,265 m²（設置者所有 2,557,301 m²、借地 606,964 m²）で、前年度に比べ 23,638 m²増加した。
- ・ 公立の専修学校の土地面積 121,680 m²（設置者所有 98,375 m²、借地 23,305 m²）で、前年度に比べ 2,887 m²減少した。